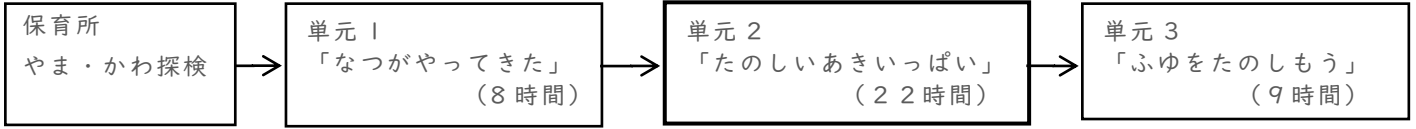


1 単元構想図

単元名 「たのしいあきいっぱい」 全22時間
 内容 (5) 季節の変化と生活・(6) 自然や物を使った遊び



◆学習の流れ

きっかけ

- ・先週の休みに紅葉を観に行っていたんだ。
- ・いちょうの木の葉の色が夏とは変わっていて綺麗だった。

第1次 あきをさがそう (7時間)

- 校庭で秋を探す。(3時間)
- ・春夏同様、校庭で草花や樹木を観察する。
- ・木の実を拾ったり、草花や木の実を使って遊んだりする。

- ◆校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを使って友達と簡単な遊びをしたりしながら、季節の変化を体感させる。

- 野山で秋を探し、伝え合う。(4時間)

- ◆学校周辺の野山で、観察したり収集したりしながら、秋の動植物についてたくさんの気づきを体験させる。

第2次 あきのよさをつたえよう (5時間)

- 見つけた葉っぱや実で遊ぶ。(4時間)
- ・秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単な作品をつくったりする。

- ◆秋の自然物でいろいろ遊べることを知り、工夫して遊んだり作品を作ったりする楽しさを味わうことで以後の学習の意欲付けを図る。

- 秋のことを伝えよう。(1時間)

- ・秋の自然の中で活動したことを振り返り、友だちと紹介し合う。

- ◆落ち葉や木の実などを展示したり、記録カードを掲示したりして、振り返りやすくする。

第3次 あきのおもちゃをつかってあそぼう (10時間)

- 秋のおもちゃを作る。(6時間)

- ・校庭や公園などで集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料を使って、おもちゃや楽器を工夫して作りながら遊ぶ。
- ・自分でつくったおもちゃや楽器で友だちと一緒に遊びながら、さらに楽しく遊べるように作り方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。

- ◆友だちと関わり合いながら、作り方や遊び方を工夫し、楽しく活動させるとともに、次の活動に向けて意欲を高める。

- 園児と一緒に遊ぶ。(4時間)

- ・自分たちがつくったおもちゃや楽器で園児と一緒に遊ぶ計画を話し合い、準備する。
- ・園児と一緒に遊びを楽しむ。

- ◆園児と一緒に遊ぶ計画を立てる中で、ルールを守ることの大切さにも気付かせ楽しんで遊べるように場を整える。

◆意識の流れ

- ・子ども教室で「赤又田山」に行く とどんぐりがたくさんあったよ。
- ・めじろが飛んでいたよ。
- ・そろそろ秋になってきたのかな。

- ・大きいバッタがいたよ。
- ・きのこを発見してビックリしたな。
- ・赤色の葉っぱがたくさん落ちていてきれいだな。

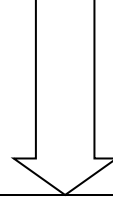
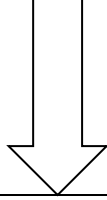
- ・木がたくさんある、「赤又田山」に行ったらたくさん秋を見つけれそうだな。
- ・山に登った時、風がヒューヒュー吹いて冷たかったな。
- ・枯れ葉を踏んだらバリバリ音が聞こえたけど、夏にはこんな音聞こえなかったな。
- ・見つけた葉っぱや実を使って、作品作りができそう。

- ・去年、1年生にどんぐりごまを作る方法を教えてもらったな。
- ・松ぼっくりと拾った赤い実をくっつけてツリーを作ったよ。
- ・夏には水を使って遊んだりしたけど、秋にはたくさん木の実や葉っぱで遊べるね。

- ・秋っていろいろな作品が作れる季節なんだね。
- ・葉っぱに色が付いた山はとっても綺麗だったね。

- ・今度はもっとたくさん、秋のおもちゃを作ってみんなと遊んでみたいな。
- ・でも木の実など散らかりやすいから、どうやって片付けるんだろう。
- ・去年の1年生みたいに保育所のみんなを招待したい。
- ・保育所の友だちが簡単にできる遊びがいいだろうな。

- ・保育所のみんなに楽しんでもらえるように、遊び方を工夫しなくちゃいけないな。
- ・招待状もつくってみたい。
- ・ルールを決めて、楽しんでもらえるようにするにはどうすればいいのかな。
- ・秋の良さ(楽しさ)を知ってもらえるといいな。



単元でつきたい力

- ・自然の様子や四季の変化に気付く。【知識及び技能の基礎】
- ・身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使うものを工夫したりしてつくる。【思考力、判断力、表現力等の基礎】
- ・身近な自然を取り入れ、生活を楽しくする。【学びに向かう力、人間性等】

2 単元について

○単元観

本単元は、学習指導要領の内容（５）季節の変化と生活（６）自然や物を使った遊びを受けて設定したものであり、秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化に気付いたり、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとしたりすることができることをねらいとしている。また、秋の自然を使って遊ぶことや遊びに使うものを工夫してつくることで、自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにすることもねらいである。

秋は動植物などが大きく姿を変化させ、児童が、身近な校庭や野山の木々の紅葉や木の実、虫の種類、気温の変化などに気付くことができる季節である。この季節に自然との触れ合いを深め自然の面白さや不思議さを体感することで、気付きの質を高めていくことができる。さらに遊びや遊びに使うものをつくりたいという思いの実現に向けて、友だちと関わりながら意欲的に体験や表現を繰り返す中で、自然を自分との関わりで捉え、生活を豊かにしていくことができると捉えている。

○児童観

本学級の児童は、年長時に「赤ヌ田山」へ行き、山の落ち葉を集めて、それをを用いた絵を描く体験をしている。１学期の「どきどきわくわく！ねんせい」や「がっこうだいすき」の学習の中では、校庭に咲いている花や虫を見つけ、楽しく遊んでいた。また、「なつがやってきた」の学習では、校庭や学校周辺の夏の自然と関わる活動を通して、「桜の花が緑色の葉っぱになっている」「トンボが飛び始めたね」などと、春と夏で季節が変化していることにも気付いた。また、友達と関わりながら、野菜の成長に気が付いたり、朝顔の花の変化を観察することができたり、身近な自然の成長を感じながら、夏の生活を楽しく生き生きと過ごしてきた。

１学期に行った生活科の意識調査でも「生活科の授業は楽しい。」「生活科で学習していることを一生懸命考えている。」の問いに全員が肯定的な評価をしており、学習にも意欲的に取り組んでいるが個人差があり、気付きの質を高めることが十分にできていない児童もいる。また、本校の課題である、相手を意識しながら話したり発表したりなどの表現に関するアンケート結果からは、否定的に捉えている児童もいる。

○指導観

本単元を通した指導に当たっては、児童一人ひとりが身近な自然との関わりをさらに深められるように活動や体験を充実させるとともに、気付いたことを基に考えることができるよう、試す・見通す・工夫するなどの多様な学習活動を設定していきたい。また、友だち同士の関わりもさらに深め、話し合いや共同の活動などを通して気付いたことを意欲的に発表し合うことで、気付きの質を高めるようにしていきたい。

本時にあたる第２次では、学校周辺の野山を散策し自然を観察したり木の実を収集したりする。散策の際には、児童がお互いに協力して準備、活動できるように配慮する。お互いに見つけたもの、気付いたことについて対話しながら価値付けし気付きの質を高めていくようにしたい。そして、「みつけたよカード」に書き、春、夏の様子と変わっているところを話し合わせ、自分や友だちの学びを確かめる。さらに、「葉っぱを使って何かつくってみたいな。」「木の実でこまができそうだな。」と次時の活動への意欲を高めていきたい。

3 単元の目標

秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくりたりして、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付くとともに、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

4 単元の評価規準

		知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【態】
単元の 評価規準		秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付いている。	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しんだり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりしている。
小単元における 評価規準	第一次	①校庭や近くの山の秋の自然の様子や特徴、夏から秋への移り変わりに気付いている。 ②身近な自然や物は、いろいろな遊びに利用できることに気付いている。	①楽しみたい遊びを思い描きながら、校庭や近くの山の秋の自然の中から遊びや作品作りに使う物を選んでいる。 ②諸感覚を生かして、校庭や近くの山の秋の自然に関わっている。	①秋の自然を楽しみたいという思いや願いをもって、校庭や近くの山の秋の自然と繰り返し触れ合おうとしている。
	第二次	③校庭や近くの山の秋の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり遊びを創り出したことなどの面白さに気付いている。 ④自分たちの生活は、季節によって様子が変わること気付いている。	③遊びの約束やルールなどを工夫しながら、遊んでいる。 ④比べたり、たとえたり、試したり、見通したりしながら、遊びを楽しんでいる。	②校庭や近くの山の秋の自然の様子や特徴に応じながら、それらと関わろうとしている。
	第三次	⑤みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。 ⑥遊びには約束やルールや大切なことがあること、またそれらを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。		③みんなで遊ぶと生活が楽しくなることを実感し、毎日の生活を豊かにしようとしている。

5 指導と評価の計画（全 22 時間 本時 12 / 22）

次	時	学習内容（時数）	評価の重点			評価方法
			知	思	態	
第一次（7）	3	・校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを使ったりして、保育所での活動を思い出しながら、その場で友達と簡単な遊びをする。（葉っぱを使ったお絵描き等）	②	①		・発言 ・行動観察 ・ワークシート
	3	・学校周辺の野山で秋を探すことについて話し合い、ルールやマナーを守り、自然を観察したり木の実を収集したりする。		②	①	
	1	・教室に戻ってきて、野山での活動で楽しかったことや気付いたことについて話し合い、ワークシートにかく。夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話し合い、まとめる。	①			・発言 ・行動観察 ・ワークシート
第二次（5）	3	・秋の自然の中で遊ぶ活動について話し合い、遊んだり葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単な作品をつくったりする。	②	① ④		・発言 ・行動観察 ・ワークシート
	1	・秋の自然の中での遊びを振り返り、気づいたことを話し合い、記録カードにかく。	③			

	1	・秋の自然の中で活動したことを振り返り、友達と紹介し合ったりして、秋という季節に気付く。(本時)	④		②	・行動観察 ・発表 ・発言
第三次 (10)	1	・秋のおもちゃをつくる活動について話し合い、校庭や野山などで集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料を使って遊ぶ。	⑤	③		・行動観察 ・発言 ・児童作品
	3	・おもちゃや楽器を工夫して作りながら遊び、自分がつくったおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりして楽しむ。				
	2	・つくったおもちゃで友達といっしょに遊びながら、もっと楽しく遊べるように作り方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。				
	2	・自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊ぶ計画を話し合い、準備をする。	⑥		③	・行動観察 ・発言 ・ワークシート
	1	・自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊びを楽しむ。				
	1	・おもちゃをつくったことや遊んだことを振り返り、ワークシートに書く。				

6 本時の指導

本時の目標	身近な山や校庭、家で見つけた秋のものを紹介し合うことを通して、秋という季節の特徴や、季節によって生活の様子が変わることに気付くことができる。	
本時の評価規準	自分たちの生活は、季節によって様子が変わることに気付いている。【知】	
情報活用能力	似ているところやちがうところ、順序などを考えながらまとめる。	
準備物	これまでに見つけた秋の自然物 活動時の写真 ワークシート	
学習の展開		
学習活動	児童の意識の流れ	評価規準【評価方法】
1. これまでの学習を振り返る。 ・校庭や山へ秋見つけに行った時のことを写真を見ながら想起する。	・校庭に秋見つけに行って、きのこを見つけたよ。 ・赤ヌ田山に行って赤くなった葉っぱをたくさん見つけたな。	
2. 本時のめあてを確認する。	めあて (はるやなつとくらべて、)あきってどんなきせつなのかな。	
3. 一人一人が見つけた秋のものを全員で確認する。(個人) ・友だちに分かりやすく伝えるために、具体物(自分が見つけた実物・写真)を使って説明する。 ・見つけた秋を場所ごとに整理し、気が付いたことや疑問に思ったこと、夏との違いを見つけて発表する。	・赤ヌ田山には松ぼっくりがたくさん落ちていたよ。 ・校庭では落ち葉を見つけたんだ。夏には緑だった葉っぱが、赤や黄色になっていてびっくりしたよ。 ・家で新米をおじいちゃんがたくさん作っていたから持ってきたよ。 ・夜になるのが早くなったのも秋になったからだと思うな。 ・山も校庭の木も葉っぱの色が赤くなっているのはどうしてだろう。 ・どんぐりや松ぼっくりがいろいろな場所で見つかるね。 ・どの場所でも秋になると寒くなっているね。	・自分たちの生活は、季節によって様子が変わることに気付いている。【発言・行動観察・ワークシート】
4. 秋はどんな季節なのか考え、各自短冊にまとめ、発表する。	・たくさんの木の実が落ちる季節だね。 ・葉っぱや木の実を使ってたくさんの遊	

<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが秋とはどのような季節なのか、気づいたことを発表する。(ペア→全体) 	<ul style="list-style-type: none"> びがでできる季節だね。 寒くなったから、長袖を着始める季節だと思うな。 	
<p>まとめ あきは、〇〇なきせつである。</p>		
<p>5. 本時を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりは春にも夏にも見えなかったけど、秋にはたくさん見つかったよ。 ・みんなが見つけた木の実や葉っぱを使って、今度はほかのおもちゃを作りたいな。 ・春、夏、秋と調べたから冬も調べてみたいな。 <p>◇求める振り返り(目指す主体的な姿)</p> <p>◎夏には葉っぱがいっぱいだったけど、秋には赤色になってちょっとずつ葉っぱが減っているから、冬にはどうなるのかな、と思いました。(順序付け・見通し)</p> <p>◎最近、暗くなるのが早くなって寂しい気持ちになるなと思いました。(関連付け)</p> <p>○秋には木の実がたくさん落ちていて、特にどんぐりが多いことが分かりました。(分類)</p>	

7 板書計画

<p>めあて あきってどんなきせつなのかな。</p>		<p>まとめ あきは、 たくさんのきのみがおちるきせつ さむくなりのはじめるきせつ</p>	
<p><u>赤ヌ田山</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつぼっくり ・赤い実 ・どんぐり ・風が冷たくて、寒かった 	<p>・たくさんの木の実が落ちていたね。</p>	<p><u>校てい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・きのこ ・赤いはっぱ ・どんぐり 	<p>・夏は緑色の葉っぱが赤くなってきている。</p>
<p>・どんぐりは春や夏には見られなかったな。</p> <p>・食べ物がいっぱい。</p>	<p><u>いえ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤いはっぱ ・どんぐり ・すすき ・しょうが ・しんまい ・さむい 	<p><u>かんじたこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ながそで ・夕日がきれい ・さむい ・夜になるのが早い <p>・夏には半袖だったね。</p>	<p><u>ふりかえり</u></p> <p>◎夏には葉っぱがいっぱいだったけど、秋には赤色になってちょっとずつ葉っぱが減っているな。冬にはどうなるのかな、と思いました。</p> <p>○秋には木の実がたくさん落ちていて、特にどんぐりが多いことが分かりました。</p>